



エンゼルハーモニーの発表の様子

中央公民館では、子どもたちと高齢者を対象とした講座を開講してきましたが、新型コロナウイルスの影響で、今年度もほとんどの講座を中止するとなりました。

中央公民館

コロナ禍の児童合唱団と野田川高齢者教室

昨年度、一昨年度と新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）の影響で、この公民館も計画した活動を十分に行うことができませんでしたが、今年度は、以前より規制も少し緩やかになり、徐々に事業を進めることができているのではないかと思います。しかしながら、今後も気を緩めず新型コロナ対策をしながら、安心安全な公民館活動をしていかなければなりません。

集まることができにくい状況の中、これまで以上に人と人との関係の大切さを感じています。だからこそ、これまで以上に、公民館に大きな期待が寄せられているのではないかと思います。ウィズコロナ・ポストコロナが展望される時期にあつて、地域の課題を解決する場として、また、住民の学べる場・集える場として、公民館は重要な役割を担っていきます。

岩滝地域公民館館長
矢野 貞夫

「まなびだより」「つどろ」「まなぶ」「むすぶ」を大切にしたい公民館活動

「与謝野町文化祭」や「ジックフェスタ」などへの参加と、定期演奏会を開催してきました。新型コロナウイルスが拡大してからは思いどおりの練習ができない日々でしたが、感染予防対策を徹底し練習してきました。今年度は16人で活動し、いくつかの発表会が中止となる中、知遊館ミュージックフェスタと与謝野町文化祭に参加。団員たちは数少ない発表の場で少し緊張も見られましたが、生き生きとした素晴らしい合唱を披露してくれました。あとは一年間のまとめとなる定期演奏会が開催できることを楽しみにしています。

高齢者を対象とした「野田川高齢者教室」は、野田川老人クラブ連合会のご協力のもと、年4回程度の講座を開講していましたが、ここ3年間はすべての講座を中止。毎年開講していた合唱「元氣いっぱい楽しく歌おう」は、40人を超える人気講座で、参加者の皆さんが大きな声で歌って笑って元気になって帰られて

岩滝地域公民館

たくさん学び、体験した「夏休み体験教室」



バランスボード作りの様子

今年の「夏休み体験教室」は、すべての教室を予定どおり実施することができました。令和4年7月22日の将棋教室をスタートに、同年8月5日の電気出前講座まで、延べ193人の子どもたちがたくさん学び、体験しました。

「将棋教室」は5回実施し、初心者からある程度指せる子どもまでが参加。指導者から指し方や手を教えてもらい、真剣な表情で将棋盤に向かっていました。

「夏スタお助け講座」では、低・中・高学年に分かれて開催。低学年は勉強の後の読み聞かせも楽しんでいました。どの学年も元教員の指導の下、夏休みの宿題に真剣な眼差しで取り組んでいました。

「夏の火曜工作」では、元中学校の理科の教員を講師に迎えバランス

ボード作りに挑戦。バランスの取れる仕組みを理解しながら、作ったものをさまざまなところに乗せて楽しんでいました。

「陶芸教室」では、阿蘇陶友会の方々にお世話になり器を制作。苦労しながらも世界に一つしかない作品ができ上がりました。

幾地地区公民館

子育て支援の推進

今年の冬休みから子育てを応援する目的で「キッズステーション」を開始。子育て応援課の事業で、地域の小学生の長期休業中の居場所や遊び場、学習の場をつくる目的で、施設管理人を配置し子どもたちの自主性に任せて運営を行うものです。当公民館では市場小学校の児童を対象に、午前9時から午後5時まで公民館を開放し、子どもたちが施設を自由に使えるように取り組みました。

座を引き続き計画したいと考えており、参加者の皆さんの笑顔が見られることを願っています。



キッズステーションの様子

初日には新型コロナウイルスが流行していることもあり、数人の子どもたちが来てくれただけでしたが、午前中は宿題やゲームをしたりして過ごしていました。新型コロナウイルスが収まって多くの子どもたちが来てくれるのを願っています。

今後は、夏休みに4年生以上の児童を対象に元教員の協力をいただいた

て学習を支援する講座とキッズステーションをコラボして、学習支援や映画会などの公民館講座を開催していく予定です。

今年もコロナ禍により、文化祭や研修旅行などを縮小して実施したり、飲食を伴う夏まつりなどは中止を余儀なくされました。今後まだまだコロナ禍は続きますが、地域づくりのために工夫して公民館講座を展開していきます。